

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月13日

計画の名称	京都市における少子・高齢社会に対応した公園再整備（第2期）													
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	京都市													
計画の目標	既存公園の機能再編等を目的とした再整備により、少子・高齢社会に対応した公園施設の整備をするなど、多様な世代の集いの場となる都市公園の整備を推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		10	A	10	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R4末
1	幅広い世代の健康増進等に寄与する公園数の増加			
	健康遊具を有する公園の割合の増加	13%	%	16%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	○	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
○京都市水共生プランに基づき実施される要素事業（3-A-1）○番号1 3-A-1 目標値：当初現況値13.3%，中間目標値15.1%，最終目標値16.0%														



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 本市において評価を実施	事後評価の実施時期 令和5年度
	公表の方法 本市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和5年度から防災・安全交付金の「京都市の安全・安心で快適なまちづくり（防災・安全）（第3期）」に移行して、事業継続中であるため、効果発現していない。 なお、事業完了後には、最終目標値を達成する見込みである。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
移行した整備計画にて引き続き整備を行う。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	公園の割合の増加	
	最終目標値	16%
	最終実績値	13%
		令和5年度から防災・安全交付金の「京都市の安全・安心で快適なまちづくり（防災・安全）（第3期）」に移行して、事業継続中であるため。